

# 上代郷総鎮守 左右神社 境外社 櫻井子安神社 社報

## 立皇嗣の礼を寿いで

寒さも幾分和らぎ、日中には穏やかな陽射しが降り注ぐようになるなど、春の気配が感じられる季節になりました。

上皇陛下の御譲位（ごじょうい）を受け、天皇陛下が踐祚（せんそ）あそばされ、令和の御代（みよ）が始まってから早くも季節が一回りを迎えるようになっています。本年四月十九日には、秋篠宮文仁親王殿下が皇嗣（こうし）となられたことを、国の内外に宣明される「立皇嗣

（りっこうし）の礼（れい）」が行われます。これは昨年から行われている「御代替（みよがわり）」の諸儀式の一つで、新しい令和の御代へと時代を受け継ぐ重要な儀式です。国民挙げてお祝い致しましょう。

発行 左右神社 社務所

発行日 令和三年一月一日

## 春祭りとお花見

全国で行われる春祭りは、一般的に春の訪れを喜び、その年の実りを願うお祭りです。稲作文化が広く根付く日本では、春には豊作を願い、秋には恵みに感謝するお祭りをして、神さまに祈りをささげてきました。また、春になると山の神様が桜の木に降りてきて田の神様になるという信仰に基づき、稲作を始めるにあたり桜の木の下に神酒をお供えたことから、お花見の習慣が生まれたという説があります。お花見にはお供えした神酒を飲んで神さまのお力をいただき、さらに豊作を願うという意味が込められています。



# 春分とお彼岸

春分の日には太陽が真東から昇り、真西に沈んで、昼と夜の長さが同じになります。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれ、寒さが和らぎ過ぎやすい季節になります。その前後三日間を含んだ七日間を「彼岸」といい、家々で祖先の御霊をおまつりし、お墓参りを行います。

お彼岸には春には「ぼたもち」、秋には「おはぎ」をお供えますが、これは呼び名が違うだけで、実際には同じものです。春は牡丹、秋は萩と彼岸の季節に咲く花にたとえて呼び分けています。

## 節供(節句)

節供はもともと、一年間の節目の日に宮中で天皇に供された食事を意味しました。なかでも、縁起のよい奇数の重なる五節供は特に重要視されてきました。人日(一月七日)、上巳(三月三日)、端午(五月五日)、七夕(七月七日)、重陽(九月九日)の節供は今でも家族で集まり一緒に食事をする習慣があります。昔より人生や季節の節目を大切にしてきた日本人の暮らしぶりといえるのではないのでしょうか。



## 神社の豆知識

### 鳥居について

私たちが神社にお参りをする時、まず目にする鳥居は、神社の神聖さを象徴する建造物といえます。鳥居は神社の内と外を分ける境に立てられ、鳥居の内は神様がお鎮まりになる神域です。鳥居は、その材質・構造も多種多様で、それぞれの神社により形態が異なります。ぜひいろいろな神社を訪れて見比べてみて下さい。

はちまん 八幡鳥居

しんめい 神明鳥居



みょうじん 明神鳥居

さんんのう 山王鳥居



節供の歴史や内容、鳥居の種類などは本社本庁のHPで紹介しています。詳しい情報を知りたい場合は本社本庁のHPをご覧ください。



家内安全・身上安全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病氣平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。ご祈願についてのお問合せは社務所まで連絡先 左右神社・櫻井子安神社 社務所 9:16時

〒289-0504

千葉県旭市櫻井1264

☎0479(68)3387

☒ホームページ問合せフォームより受付